



広報

フルーツの香り漂う ロマンの里

おおくま

2
2015(平成27年)
No.511

20歳の誓い

—大熊町成人式(2015.1.11)—



今月の主な内容

- 成人式 ②～③
- おおちゃん小法師審査会 ④～⑤
- まちの話題 ⑥～⑧
- おおくま定点観測 ⑨
- KIZUNAおおくまふれあい通信 ⑩～⑬



おめでとう新成人

大熊町成人式

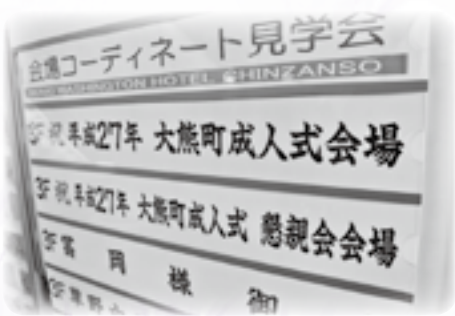


平成27年大熊町成人式は1月11日、いわき市のいわきワシントンホテル椿山荘で行われました。今年の新成人124人のうち100人が出席し、色鮮やかな晴れ着や真新しいスーツ姿で晴れの日を迎えました。今年は初めて、いわき市で開催しました。式では渡辺利綱町長が「町は今も、長い年月を必要とする数多くの問題に直面しています。一つ一つを解決するためには、松下幸之助の言葉にもある通り、強い熱意と高



い希望を持ち続けることが大事です。皆さんにはこれからの社会で活躍することを大いに期待します」と式辞を述べ、川本菜摘さんに成人証書を手渡しました。千葉幸生町議会議長、元大熊中教頭の早川良一さんが祝辞を贈りました。

よくしようとする方の尽力があつて今があります。次は私たちの番。仲間と共に築いていく未来を、どうか温かく見守ってください」と謝辞を述べました。引き続き開かれた懇親会では、旧友との再会を懐かしみ、古里での思い出話に花を咲かせました。記念写真を撮影したり連絡先を交換し合ったりして、旧交を温めました。





おおおちちゃん小法師 最優秀決定!



背面



正面

最優秀賞(1点)

渡辺 涼夏さん

大熊町のマスコットキャラクター「おおおちちゃん」をモチーフに、震災からの復興に向けた決意、支援していただいた会津への感謝を伝えるために製作する起き上がり小法師「おおおちちゃん小法師」のデザイン選考委員会は1月15日、町役場会津若松出張所で開かれました。最優秀賞には大熊中3年の渡辺涼夏さん(15)が輝きました。おおおちちゃんと起き上がり小法師の要素を半分ずつ採り入れ、にこやかな表情が印象的な作品です。背面には町の特産物、梨と鮭をあしらいました。町民の皆さんにも笑顔になってほしいとの思いを込めたそうです。デザイン募集には一般町民や小中学生、町ゆかりの方々から200点の応募がありました。最優秀賞のほか優秀賞3点、審査員賞20点が選ばれました。



長谷川 雄介さん



和田 恵美子さん



会田 絵里奈さん

優秀賞(3点)



佐久間 夢来さん



渡部 大輝さん



池沢 みのりさん



佐藤 優愛さん



今野 海さん



五嶋 希良々さん



工藤 日和さん



新田 歩未さん



佐藤 舞佑さん



鎌田 陽菜さん



今野 逞登さん



佐久間 香那さん



脇本 美空さん



坂本 ひなのさん



中里 祥歌さん

最優秀賞作品は、避難生活でお世話になった多くの方々にプレゼントとして送る起き上がり小法師のデザインに採用します。「起き上がりムンク」などを手掛けた西会津町の野沢民芸品製作企業組合に見本品を製作してもらいます。プレゼントの絵付けは後日、町民の皆さんにもご協力いただいで800個ほど用意したいと思います。

審査員長の渡辺利綱町長は「素敵な作品を多数お寄せいただき感謝します。逆境で転んでも立ち上がるという決意を、会津の方々に親しまれる民芸品に込め、私たちを支えてくれた方々に贈ります。かわいがってあげてください」と話しています。



田中 維織さん



渡辺 海さん



奥山 麗菜さん



木幡 香澄さん



向井 和奏さん

仮設防犯隊に警察署長感謝状

警察業務に協力したとして、会津若松市の松長近隣公園仮設住宅防犯隊は12月19日、会津若松警察署長感謝状を贈られました。防犯隊は署員と合同で各戸を訪問し、避難生活を続ける町民に防犯や交通安全を呼び掛けたり啓発のための教室を開いたりしているほか、日ごろから一人暮らしの高齢者の安否確認にも気を配っています。窪木明署長から感謝状を受けた島原健二郎隊長は「引き続き仮設住宅の安全のため尽くしたい」と話しました。



窪木署長から感謝状を受ける島原隊長（左）

写真寄贈の山田さんにも感謝状

会津若松市に暮らす町民の山田誠さん（78）にも会津若松署長感謝状が贈られました。山田さんは写真が趣味で、県内各地の名所や催事を撮影しています。このうち三春町の滝桜、猪苗代町の不動滝、磐梯吾妻スカイライン、雄国沼、古殿町の流鏝馬などを同署に寄贈しました。写真は「福島四季」と題してロビーに展示され、訪れた人や署員を楽しませています。山田さんは「少しでも目を留めてくれればうれしい」と話しています。



飾られた写真を前に感謝状を手にする山田さん

見回り隊が双葉警察署から感謝状

大熊町見回り隊は町内のパトロール活動を通じ、地域安全に貢献したとして12月26日、双葉警察署長感謝状を受けました。見回り隊は大川原と中屋敷地区で24時間体制のパトロール活動に取り組んでおり、地元の防犯や交通安全に尽くしています。感謝状は1年間、警察業務に協力した個人、団体に贈られ、平成25年に続く受賞となりました。栢葉町の同署臨時庁舎で贈呈式を行い、島原健二郎隊長が渡部敏久署長から感謝状を受け取りました。



感謝状を受け取る島原隊長（左）

復興支援員に五十嵐さん、佐治さん

大熊町復興支援員に五十嵐翼さん（25）、佐治永子さん（50）が加わりました。五十嵐さんは新潟県長岡市の出身。新潟県中越地震の復興支援員を務めた経験があり、町民コミュニティ復興支援を担当します。「経験を生かしてできることを全力で取り組みます」と話しています。佐治さんは会津美里町出身で、避難先で開所した富岡幼稚園でも勤務経験があります。ダブルト端末に関する問い合わせ対応などに当たります。「避難者の皆さんは身近な存在。早く慣れてお役に立ちたい」と話しました。五十嵐さんはいわき出張所、佐治さんは会津若松出張所のダブルト相談室で活動します。復興支援員は13人となりました。



五十嵐翼さん



佐治永子さん



要望書を手渡す井戸川会長（右）

絆維持する行政区活動に支援要望

大熊町行政区長会は12月24日、住民の絆を維持する行政区活動に対する支援を町に要望しました。交通費が負担になり総会や交流会に参加できない遠方の避難者がいたり、区費を徴収できないため通信費を区長が自費で負担したりしているとのこと。町役場会津若松出張所で井戸川洋一会長が渡辺利綱町長に要望書を手渡しました。渡辺町長は「町を維持するためにも大切な問題。要望に応えられるよう精いっぱい努力したい」と述べました。

中間貯蔵で地権者が支援要望

大熊、双葉両町の中間貯蔵施設建設候補地の地権者有志でつくる「30年中間貯蔵施設地権者会」は12月19日、国に土地価格の引き上げなどを求める活動を支援するよう、町に要望しました。要望では搬入受け入れや国との安全協定の締結に際して拙速な判断をしないことや、候補地となっている町有地を売却でなく20年の賃貸借と10年の更新契約とすることなどを求めました。門馬幸治会長が渡辺利綱町長に要望書を手渡しました。



要望書を手渡す門馬会長（右）

中間貯蔵用地、期成同盟会が要望

中間貯蔵施設設置（夫沢一区地域）反対期成同盟会は1月9日、会員の中間貯蔵施設建設用地に関する要望を渡辺利綱町長に対して行いました。要望は施設が最終処分場化される疑念が拭えないとして①土地賃借法の適用②買い上げ単価の見直しを、町から国に働きかけるよう求めました。武内俊一郎会長、事務局の佐久間国幸さんが町役場会津若松出張所を訪れ、渡辺町長に要望書を手渡しました。2人は施設が最終処分場になる恐れを指摘し、要望への理解を求めました。



要望を行った武内会長（右）ら

内堀知事が町職員と意見交換

内堀雅雄福島県知事が1月9日、大熊町役場会津若松出張所を訪れ、幹部職員と意見交換しました。内堀知事は「わずかが帰町を願う町民が増えていて。今後は町民と、事業などで新たに参入する人々との融合が必要。必ず復興を成し遂げるといふ使命感で頑張っしてほしい」と呼びかけました。職員は住民サービスや除染など各課の課題を訴え、解決に向けた県の支援を求めました。渡辺利綱町長や千葉幸生町議会議長、町議の代表も参加しました。



職員と意見交換する内堀知事（左）

バレー全国大会出場、坂本さんが抱負

全国スポーツ少年団バレーボール交流大会に大熊町から出場する、みなみそうまさボ少の坂本舞さん（石神二小6年）は12月26日、町役場会津若松出張所を訪れ健闘を誓いました。チームで主将の坂本さんは「最後の大会なので悔いの残らないよう頑張りたい」と語りました。渡辺利綱町長が「避難生活の中での出場おめでとう」と祝福しました。かつて坂本さんを指導した山本秀一さんも訪れました。大会は3月27日から福島市で開かれます。



健闘を誓った坂本さん（中央）と山本さん（左）



入居開始を祝ってテープカットする出席者

復興公営住宅年貢町団地の入居開始

県が会津若松市に建設した復興公営住宅年貢町団地2、3号棟の鍵引き渡し式は1月15日行われ、大熊町民らが入居を開始しました。2、3号棟は、同市内では古川町団地に次ぐ完成で、木造メゾネットタイプの合計8戸。会津若松市の田辺賢行副市長、大熊町の石田仁副町長らがテープカットし、入居者の志賀廣三さんに鍵が手渡されました。志賀さんは「素晴らしいところに入居でき感謝します。ここから一歩ずつ前進したい」と謝辞を述べました。

廃炉に向けて東電と新安全協定

県、大熊、双葉両町と東京電力は1月7日、福島第一原発の廃炉に向けた新たな安全協定を結びました。主な内容は、県や立地町のほか関係市町村や専門家で組織する廃炉安全監視協議会に立ち入り調査権を与えること、東電に積極的な情報公開を義務付けることなどを盛り込みました。渡辺利綱町長と内堀雅雄知事、伊沢史朗双葉町長が県庁で東電の敷土文夫会長、広瀬直己社長と面会。廃炉への取り組みを安全かつ着実に進めるよう申し入れました。



新安全協定を結んだ渡辺町長（右）ら



南相馬市で初開催された交流会の参加者

南相馬で交流会、町民集う

「南相馬方部で暮らす大熊町民の集い」は1月16日、南相馬市内で開かれました。昨年10月に同市内で町社会福祉協議会が開いた交流会がきっかけとなり、市内に暮らす町民が企画しました。参加した12人からは「近隣に住む町民の方と新たに知り合うことができ嬉しい」「次回からは広報紙にお知らせを出し、ほかの町民にもたくさん参加してもらおう」などの声がありました。近況報告や町の思い出話などで会場は盛り上がり上がっていました。

おおくま 定点観測

～町役場屋上から～



町内の様子を
特定の撮影場所から
毎月写真で紹介しま
す。今回は町役場屋
上からの風景です。



1月14日、撮影のため町内を訪れました。帰還困難区域のゲートを2カ所通過し、役場へ続く道を運転していると、藪から突然キジが現れました。急ブレーキで何とか交通事故は免れましたが、肝を冷やしました。この日は抜けるような青空で、日なたではコートがいらぬほどでした。遠く6号国道から、頻繁に行き交う車の音が聞こえました。



KIZUNA おおくまふれあい通信

第22号

東日本大震災と、それに伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故により、大熊町は全町避難を余儀なくされ、私たちは今も、全国各地に分散して不自由な生活を強いられています。

長期化している避難生活、先行き不透明な状況の中で、ふるさと「おおくま」に対してどのような想いを抱いているのか、直接避難先へ訪問してインタビュー取材を行い、本紙に掲載させていただいています。

「KIZUNAおおくまふれあい通信」を通して届けられた想いを共有し、ふるさと「おおくま」と皆さまを「絆～きずな～」でつないでいくことができれば幸いです。

※株式会社鹿島印刷所（南相馬市）の記者が避難先を訪問し、インタビュー取材をさせていただきます。

※掲載する文章は、インタビューした内容をもとに記者が作成しますので、インタビューをお受けいただいた方が文章を作成する手間はございません。

おおくま駅伝



鮭の稚魚放流

「KIZUNAおおくまふれあい通信」で、 あなたの想いを伝えてみませんか？

KIZUNAおおくまふれあい通信では、避難されている皆さまへ想いを伝えていただける方を募集しています。避難先での活動や避難生活で感じていることなど、あなたの想いをこのコーナーでお話してください。大熊町民の方ならどなたでも結構ですので、ご連絡をお待ちしています。

応募先

大熊町役場会津若松出張所総務課秘書広聴係
電話：0120-26-3844 FAX：0242-23-7093
E-mail：somu@town.okuma.fukushima.jp



熊町小で琴教室



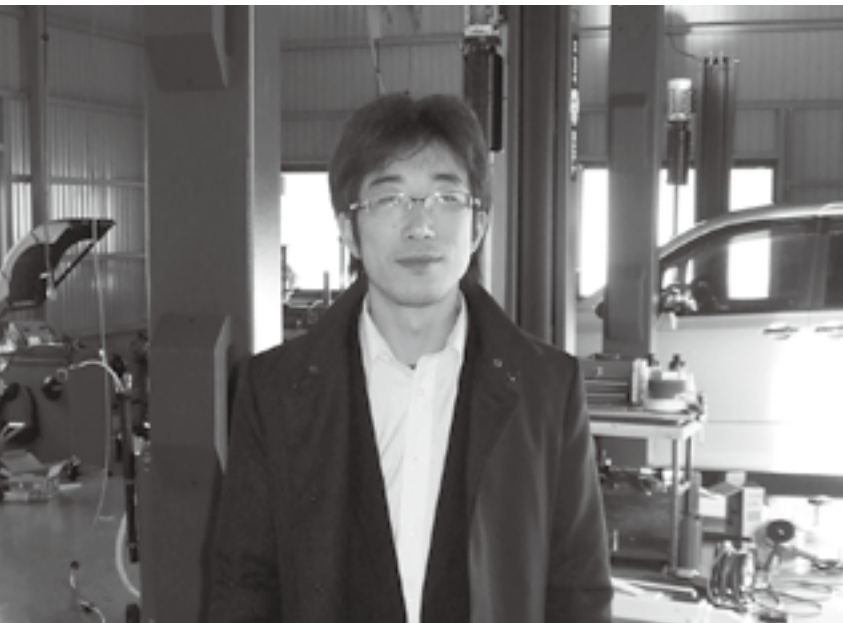
福島県 会津若松市

くるまや こばん
車屋COPIN

さとう むつみ
代表 佐藤 睦美 さん

小高町出身で、大熊町内に生活しながら浪江町内の自動車販売会社に勤務していた。

原発事故により、勤務先、自宅、実家のいずれもが避難区域となってしまった。



昨年11月23日（勤労感謝の日）に開業しました。店名にある「COPIN（コパン）」とは、フランス語で「仲間」という意味で、お客様が、まるで仲間同士のようにならないうちに気軽に話しかけられるような店を目指したいという目標を込めました。車の点検整備をはじめ、ご希望の車探しまで一緒にさせていただければと思っています。

避難する以前、私は浪江町内の自動車販売店に勤務していました。被災直後、家族と共に喜多方市内の親類を頼り会津地方での生活を始めました。避難後間もなく、生活の自立のためにJ A会津いいでの葬祭事業部門で働き始めました。同

J Aの葬祭事業は、他J Aと違い業者委託ではなく自営で行っていたため、業務量が多く大変な部分もありましたが、地域の皆さんとコミュニケーションをとることができると、地域を知り馴染む良い機会となりました。葬祭については全くの素人でしたが、勤務先J Aの皆さんには一から丁寧に教えていただきました。

避難後しばらくして、勤務先は県南地区で営業を再開しましたが、会津での生活にも慣れたこと、避難により長年住み慣れた地域を離れたことを「新しいチャレンジへの機会」と前向きに捉えたいと

考え、この地で動き出そうと腹を据え、開業に向けて行動を開始しました。しかし実際に動いてみると、都市計画による土地利用制限など、良さそうな場所を見つけてもうまくいかないことも多く、現在の場所に巡り合うまでに何度もあきらめかけました。また、私の場合、「避難移転開業」ではなく、「避難新規開業」のため、避難による中小企業の開業支援に関する各種施策の対象外だったため、補助金をはじめとする公的支援を受けることができず、全てが自力での開業となりました。

店舗・工場が完成し、陸運局の検査までようやくこぎつけることができました。開業にあたっては、通り一辺ではなく、お客様の個性に応えるというスタイルを目指そうと思っています。



〒965-0102
会津若松市真宮新町北4丁目92-1
TEL(0242)93-5525 FAX(0242)93-5526
e-mail: mutsu024@yahoo.co.jp



福島県 会津若松市

こわた じん
木幡 仁さん

自宅は野上1区にあり、大熊町農業委員でJAふたば理事。元・大熊町議会議員。

現在、妻と共に、松長近隣公園仮設住宅で生活し、同仮設住宅の自治会長を務めている。



私が生活している仮設住宅には約280戸入居できます。供用開始当初はほぼ全戸に入居していましたが、現在は、その半分程度となっていました。仮設住宅を離れる方の多くは「自立」のためであり、笑顔で送り出していますが、その方、高齢者を中心に残り残されてしまう方も少なくないため、他の仮設住宅同様、ここでも入居者の高齢化が進んでいます。

私は、農林業と学習塾を営んでいました。先祖から受け継ぎ、長年耕作してきた土地から離れることを強いられたことは、とても辛いものでした。また、そうした土地は原発事故による放射能汚染のため、少なくとも数十年の単位で耕作が不可能となり、山林からは木一本すら切り出すことができません。そうした現実には「自分の意思とは無関係」なものであり、理不尽そのものです。

原発事故以降、事故の原因者である国や東電に対して自立可能な水準での補償や賠償を求めてきましたが、多くの町民の方々同様、納得できる回答を得ていないため、弁護士の手を借りながら解決に向けた法的な行動を続けています。

原発事故の発生から4年になろうとしています。根本的な救済にはほど遠い状態にあります。危険がそのままであるにもかかわらず「復興への歩」と称し、避難指小の再編、町内地域除染など、将来を見据えたとはいえない場当たり的な対症療法が続けられ

ています。中間貯蔵施設については、復興のために必要なものであり、建設受け入れに際しては、補償賠償を含め、町が中心となって進めるべきだと思います。また、当町をはじめ双葉郡内の各地で、除染と称して肥沃な表土を剥ぎ取った水田で稲作の試験栽培が行われていますが、生産された米は、量・質ともに震災前とは比較にならないほどの無惨さです。

見ることはできても帰れない故郷。時間と共に荒廃とコミュニティの崩壊だけが進んでいます。帰りたい気持ちは生変わりませんが、人生という時間は無限ではありません。そのため、いつになるかわからない帰還二辺倒ではなく、避難先での自立・定着により、充実した生活を進めるため、「帰還しない」という意思を示したところ、多数の町民の皆さんから賛同を得ることができました。

時間の経過とともに、避難先での定着を選択する方が増えています。帰還意思を持つことを否定することは決してありませんが、先が見えない状況に留め置くのではなく、結果として帰還につながることも、皆さんの生活再建と有意義な人生を送るための自立支援について、より強力で推進すべきと考えています。被害者である私たちは生活再建に向けて遠慮や泣き寝入りをする必要は絶対ありません。多くの皆さんの被害回復に向け、自分自身の信念として、今後も行動を続けていきます。



福島県 会津若松市

しが 志賀
かえで 楓さん

大熊中学校3年生

自宅は野馬形区。被災当時は熊町小学校5年生。

変わったことや珍しいことが好きという性格が幸いして、避難後の生活も、何か新しいことへの出会いを感じさせるチャンスと前向きにとらえて日々を送っている。



私の将来の夢は料理人になることです。小学生の頃に知った川越達也シェフに憧れ、誕生日が同じということもあり、将来は、川越さんのような料理人になりたいと思っています。そのため食品関係についての学科がある県立高校に進学したいと考えています。そして、食品についての知識を学び、高校卒業後は専門学校に進学し、調理師免許を取得して、料理の道に進みたいと思っています。

被災当時は熊町小学校の5年生でした。大地震に遭った時は小学校の体育館で卒業式の準備をしていましたが、地震や雷よりも心霊現象等が怖い性格で、地震による大きな揺れより、同級生たちの大きな悲鳴に動揺してしまいました。

震災発生翌日からこの約4年間、大熊に帰ることはできていませんが、学校の授業で、町に関する同級生の発表などを目にする、町での生活が蘇り、懐かしい気持ちになります。将来、一度だけでも大熊町に帰り、熊町小学校など思い出のある場所に行きたいと思っています。避難以降、友人たちの多くと離ればなれになっていますが、インターネット交流サイト等を通して連絡を取り合っているため、顔を合わせられなくても、毎日一緒にいるような気持ちです。

会津若松市では母と2人で仮設住宅に

生活しています。隣り合って祖母が入居しています。避難まで父を含め4人家族でしたが、現在、父は仕事の都合でいわき市に単身赴任しているため、家族が揃うのは週末だけです。ここでの生活には慣れましたが、雪との格闘は続いています。最初の年は大熊で経験することのなかった大雪を楽しんでいましたが、毎朝寒いうちからの雪かきや、雪や氷で狭められ滑りやすい通学路など、冬の環境は厄介な存在です。

中学生になってから、自分の考えを大切にしたり、人と違ったことをやりたいと思うようになりました。小学生の頃は、周りに合わせる感じでしたが、自分の思ったことをなるべく前面に出すようにしています。また、物事にも好き嫌いはつきりさせるようになり、好きな物に対してはとことん突き詰めなければ気が済みません。

あと1ヶ月少々で中学校を卒業します。希望通りの進路に進むことができ、料理人になれることができたら、品質がよいのに風評被害で生産・消費が低迷している福島県産の農産物を使っておいしい料理を作り、皆さんを元気にするお手伝いをしたり、感動してもらえそうなオリジナル料理を出す店を構えられればと思っています。

相馬税務署から

平成26年分の申告と納付等の期限は、所得税及び復興特別所得税・

贈与税は3月16日(月)、消費税及び地方消費税は3月31日(火)です。

受付期間

平成27年1月26日(月)～3月31日(火)
(土・日・祝日を除きます。)

※ただし、2月22日及び3月1日に限り、日曜日も開設します。

【相馬市会場】 振興ビル6F

(相馬市中村字塚ノ町65-16)

午前9時～午後4時まで

※相馬税務署には申告書作成会場を設置しません。

※公共交通機関のご利用をお願いします。

【南相馬市会場】 ビアフレスコ内

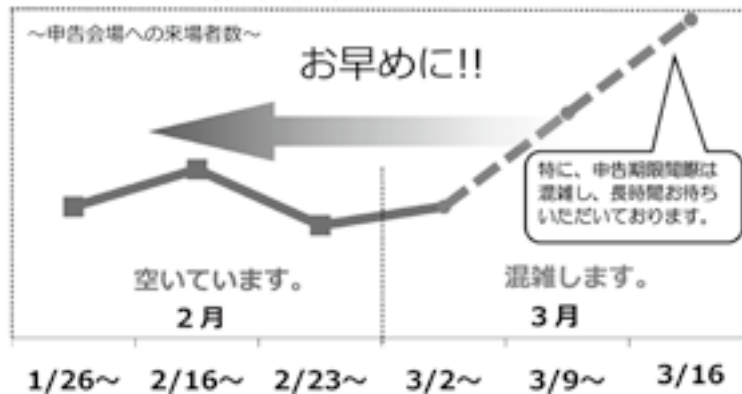
(南相馬市原町区北原字境堀225)

午前9時30分～午後4時まで

平成26年分確定申告期は、原発事故により被害を受けた方が申告相談のため数多く来場されることが見込まれますので、会場が非常に混雑し長時間お待ちいただくことが予想されます。

手続がお済みでない方は、相馬税務署又は最寄りの税務署まで電話等により事前予約の上、申告はお早めをお願いします。

「3月は混雑します。」



法人町民税・法人県民税などの申告・納付手続きは3月中にお願いします



本町に本支店を置く法人の法人町民税や、本町に本店を置く法人の法人県民税、法人事業税、地方法人特別税の申告・納付については、期限の延長措置が平成26年3月31日に終了し、手続き期間が1年となっておりますので、平成27年3月31日までに忘れずに申告・納付の手続きをお願いします。

【お問い合わせ先】

・法人町民税に関して
大熊町役場会津若松

出張所 税務課

・法人県民税などに関して

相双地方振興局県税部

☎0244(26)1126

所得税の確定申告の期限延長措置の解除について

このたび、震災以降続いていた平成22～25年分の確定申告の期限延長措置が解除され、確定申告をする方は平成27年3月31日（火）までに手続きをする必要があります。期限直前は混雑が予想されますので、相馬税務署（☎0244-36-3111）又は最寄りの税務署まで電話等により事前予約の上、お早目の相談をおすすめします。なお、上記期限までに確定申告が困難な場合には、相馬税務署又は最寄りの税務署にご相談ください。

なお、町の申告受付の日程等につきましては、広報1月15日号に掲載しております。

※東京電力からの賠償金のうち課税対象となるもの（給与等の就労不能損害や営業等の逸失利益）を受けている場合は、所得税の確定申告が必要となる場合があります。

また、東日本大震災に対する雑損控除を受ける場合は確定申告が必要となりますので、まずは相馬税務署又は最寄りの税務署にご相談ください。

※確定申告の期限につきましては

平成26年分 → 平成27年3月16日（月）

平成22～25年分 → 平成27年3月31日（火）

となっておりますので、お間違えのないようご注意ください。

インターネットを利用した確定申告書の作成について

直接税務署等に出向かなくても、国税庁ホームページ（<http://www.nta.go.jp>）の確定申告書等作成コーナーを利用することで、自宅で確定申告書等を作成できます。

作成した確定申告書等のデータは、印刷して税務署へ郵送等で提出することができます。

また、e-Tax（国税電子申告・納税システム）を利用することで確定申告書等のデータを税務署に送信することもできます。e-Taxのご利用の際は電子証明書やICカードリーダー等の準備が必要となりますので、事前に国税庁ホームページで利用環境等をご確認ください。

町県民税申告書の送付について

確定申告を必要としない方につきましても、町県民税の申告は必要となる場合があります。2月上旬に町県民税申告書を別途郵送しますので、内容をご確認の上で、必要な方のご提出をお願いします。

※町県民税申告書をご提出いただいたも、確定申告書を提出したことはありませんのでご注意ください。確定申告が必要な方は、相馬税務署または最寄りの税務署にご相談ください。

大熊町東日本大震災犠牲者 合同追悼式を行います

町では平成23年3月11日に発生した東日本大震災により亡くなられた方、それ以降避難中に亡くなられた方々を追悼するとともに、復興に向けた誓いを新たにするため、追悼式を開催します。

日時 平成27年3月11日（水）午後2時30分～（午後1時30分から受付を開始します。）

会場 神保セレモニーホール天恵苑（会津若松市扇町38番地）

対象 平成23年3月11日以降に亡くなられた方のご遺族

※災害弔慰金認定者のご遺族には個別に案内通知を発送いたします。

上記以外の方でご参列いただけるご遺族は、お手数でも2月23日（月）まで、ご参列代表者の氏名、人数及び連絡先を電話にてご連絡ください。

内容 黙とう、町長式辞、追悼の言葉、献花など

【お問い合わせ先】 大熊町役場会津若松出張所 福祉課福祉係

「介護給付費のお知らせ」を送ります

大熊町では、介護保険制度への理解を深めていただくとともに、利用された介護サービスの内容、回数などを確認していただくことを目的として、介護サービスを利用された町民の方に「介護給付費のお知らせ」を送付します。

送付対象者 平成26年1月～平成26年12月に介護サービスを利用された被保険者

発送時期 平成27年2月末

記載事項

・サービス提供年月	介護サービスを利用した月
・サービス業者	介護サービスを実際に提供した事業者名
・サービス種類	利用した介護サービスの種類
・サービス日数／回数	その月に利用した介護サービスの日数又は回数
・利用者負担合計額	介護サービス費用のうちの1割 利用者負担減免のため0円が記載されます。
・サービス費用合計額	利用者負担額（1割）と保険負担額（9割）の合計額

※請求書ではありません

（平成27年2月28日まで介護サービス利用料が免除となっているところですが、3月以降の取り扱いについては、分かり次第お知らせします。）

【お問い合わせ先】 大熊町役場会津若松出張所 健康介護課介護保険係

東日本大震災に係る医療費一部負担金の免除の延長について

大熊町国民健康保険・後期高齢者医療保険に加入されている方へのお知らせです。

現在、国民健康保険及び後期高齢者医療保険の医療費一部負担金の免除証明書の有効期限は、平成27年2月28日となっています。平成27年3月以降の免除については、期間が**1年間延長される予定**です。皆様には期間の延長や免除の詳細が決定次第、新しい免除証明書を発送させていただく予定ですので、もうしばらくお待ちください。免除証明書の発送は2月下旬を予定しています。

※医療機関で一部負担金の免除を受ける際には、一部負担金等免除証明書が必要です。**被災証明書を提示して一部負担金の免除を受けることはできません**のでご注意ください。

社会保険等の医療保険にご加入の方で、引き続き窓口負担が免除される方は、免除証明書の更新が必要かと思われます。免除証明書についてご不明な点があれば、ご加入の医療保険の保険者へ直接お問い合わせください。

【お問い合わせ先】大熊町役場会津若松出張所 住民課国保年金係

消防署から

平成26年における双葉郡内での火災発生件数について



平成26年中双葉郡内で発生した火災は**9件**でした。

平成25年の20件を大きく下回りましたが、
今年も引き続き火災を予防し、更なる減少を目指しましょう!!

全国の火災での出火原因について全国では色々な原因で火災が発生しています。
原因を知り、未然に火災を防ぎましょう。



【全ての火災における出火原因】

※平成26年1月～6月統計

- 1位 放火(家の周りの整理整頓をしましょう)
- 2位 たばこ(確実に水で消火しましょう)
- 3位 たき火

※建物火災では出火原因1位が【コンロ】となっています。
火の取扱いには注意しましょう!!



火事と救急は119番

<消防署連絡先>

- ◇浪江消防署 0240-38-2119
- ◇富岡消防署 0240-25-2119



特定疾患患者見舞金の申請について

大熊町では特定疾患患者（未成年の場合はその保護者）の方に対し、特定疾患見舞金として年額2万円を支給しています。

今年度まだ申請していない方は、下記期限までに忘れずに申請してください。

対象者	大熊町に住民登録し、かつ下記のいずれかに該当する方 (1)福島県知事が発行する「特定疾患医療受給者証」又は「小児慢性疾患治療研究事業認定証」を所持する方（未成年の場合はその保護者） (2)「特定疾病療養受療証」を所持する方（人工透析、血漿分画製剤を投与している先天性血液凝固第Ⅷ因子障害又は先天性血液凝固第Ⅸ因子障害「血友病」、血液凝固因子製剤の投与に起因する抗ウイルス薬を投与している後天性不全症候群で受療中の方）
申請方法	電話等で問合せいただいた方に申請書を郵送します。 記入後、保健センターへ郵送してください。 また、申請書は大熊町ホームページからもダウンロードすることができます。
提出書類	1. 特定疾患患者見舞金受給資格認定申請書（必ず朱肉で押印） 2. 福島県知事が発行する「特定疾患医療受給者証」又は「小児慢性疾患治療研究事業認定証」、保険者が発行する「特定疾病療養受療証」のいずれかの写し（コピー）1部
申請期限	平成27年3月2日（金）

高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種について

11月15日号の広報でもお知らせしました対象者について再度お知らせします。

接種対象者で過去に肺炎球菌ワクチンを接種したことがある方は、町の助成の対象となりません。ご注意ください。

会津地域

ちびくまランド

子育てや生活のことなど、みなさんで気軽にお話ししよう!



会津地域にお住まいのお子さんとママ、妊婦さんたちを対象に交流会を開催します。みなさんで楽しくおしゃべりしませんか？参加者は大熊町の方です。ぜひご参加ください。

日時 2月23日(月) 10時～12時

場所 おおくまサロン ゆっくりすっぺ

対象者 概ね0、1歳児と保護者、妊婦さん(上のお子さんの参加も大歓迎!!)

準備物 母子健康手帳、バスタオル(ベビーマッサージ用)、育児に必要な物

内容 身体計測、ベビーマッサージ、相談等、育児に関する情報交換、お好みの飲み物でティータイム

スタッフ 保健師、管理栄養士、助産師(おひさまの会)、保育士

※ゆっくりすっぺに駐車場はありませんので、役場の駐車場をご利用ください。



【お問い合わせ先】

大熊町役場

会津若松出張所保健センター

☎0120-26-3844

保健だより

【お申し込み・お問い合わせ先】
大熊町役場いわき出張所
保健師／花房敬子・市岡美奈
☎0120-26-5671

いわき出張所 各種催しのご案内

ヘルシーアップ教室

～楽しくカラダを動かしヘルシー生活を身につけませんか？～

日程	日にち	内容
全5回コース。1月30日からスタートしていますが2月からの参加も可能です。	2回目 2月13日(金)	体操
	3回目 2月27日(金)	体操 と 食生活チェック

時間 いずれも10時～11時30分 **講師** Jヴィレッジフィットネスクラブ
会場 いわき出張所2階コミュニティホール **申込み** お電話にて。

男の料理教室 ～男の出番ですよ！～

日にち 2月3日(火)
時間 受付開始9時50分～13時
場所 いわき出張所2階
講師 味の素キッチンカー栄養士
持ち物 エプロン、三角巾(大型ハンカチなど)
参加費 無料
申込み お電話にて。(＊女性の方でも参加可能です)

子育てひろば

日にち 2月24日(火)
時間 午前9時30分～正午
場所 自由遊び
場所 いわき出張所 2階
対象 未就学児とその親(祖父母も大歓迎)
申込み 不要



お弁当診断の時間ですよ♪

毎日食べているあなたの「お昼ご飯」、家族に作っている「お弁当」は十分な栄養は摂れていますか？栄養士があなたに足りない栄養素&おすすめおかずを診断します！

日時 2月17日(火) 午前11時～午後1時
場所 交流ステーション コミュニティ結.com
(会津若松市馬場町 1-18)
定員 6名
参加費 無料
申込先 コミュニティ結.com (TEL.0242-85-8444)
持参品 いつものお昼をお弁当にご持参下さい。
もちろんコンビニ弁当でもOKです！
ふくしま心のケアセンター会津方部センター



あつまっかおおくま交流会 を開催します（柏崎市）

新潟県柏崎市方面に避難されている町民の皆様のご参加をお待ちしております。今月は簡単な運動を予定しております。

- ◆日付 2月20日(金)
- ◆集合場所 柏崎市駅前2丁目2-30
エネルギーホール2階
- ◆時間 午前10時～正午



【お問い合わせ先】

代表 平子恵理子 ☎090-2999-6278

埼玉県へ避難している皆さんへ

輪になろう!

ふみ出そう!



ひまわりサロン

- ◆日時 2月19日(木) 午前10時～
・お楽しみサロン
アロマをテーマにバスボブを作り、アロマのボランティアさんのマッサージ付き。ゆったりとした雰囲気でおしゃべりも楽しめます。
- ◆場所 川口市立やすらぎ会館（川口市南鳩ヶ谷6-8-16）

【お問い合わせ】

ひまわりの会 ☎080-5431-0123（島田）

大熊町のママさんサークル ママだってやってみ隊! ～次回イベント～

- ◆日時 2月17日(火) 午前10時～正午
- ◆会場 一箕町長原地区仮設住宅・南集会所（会津若松市）
- ◆内容 ポーセラーツ教室（白磁器にシールで絵付けし、先生に焼いてもらって後日受け取ります）
- ◆費用 2,000円
- ◆申込締切 2月13日(金)

【お申し込み・お問い合わせ先】

090-6259-7933（阿部）
※平日午前10時～午後5時受付

いわき市内に避難している皆さん!

お茶っ会 「すまいるサロン」 を開催します

大熊町民であれば、どなたでもご参加いただけます。ご参加お待ちしております!

- ◆日時 2月4日(水) 午前10時～午後3時
※ご都合のよい時間にお出かけください。
- ◆場所 大熊町役場いわき出張所
2階調理室
- ◆主催 すまいるサロン
※初めて参加される方は、ご連絡いただければ幸いです。

【お問い合わせ】 ☎080-1830-5567（小林）

茨城県に避難の大熊町のみなさんへ

大熊町避難者コミュニティ 「積小為大の会」

2月の定例会は次の通り開催します。

- ◆日時 2月21日(土)
午前9時30分～12:00
- ◆場所 茨城県産業会館(水戸市桜川2-2-35)
- ◆駐車場 産業会館の駐車場をご利用ください
- ◆内容 次年度の計画について

【お問い合わせ】 野田朋弘（日立市） ☎090-8423-5608 Email: tomohiro-n@higashi-t.com

町民掲示板

借り上げ住宅自治会 おおくま町会津会

◆2月の開催日
(両日とも午前10時から)
4日(水)・18日(水)
交流会
(裂き織りを使ったスリッパづくり)

◆場 所
おおくまサロン
「ゆっくりすっぺ」(会津若松市)
※随時会員を募集しています。

【お問い合わせ】
☎090-7078-2327 (山本)

こらんしょ大熊(県北地方大熊町避難者交流会) 新年会のご案内

県北地方避難者交流会「こらんしょ大熊」では、2月7日に福島市で新年会を開きます。福島市や伊達市等に避難されている町民の皆さまのご参加をお待ちしています。

◆日 時 2月7日(日) 午前10時～
◆場 所 飯坂ホテル聚楽(福島市飯坂町)
◆会 費 1,500円

12月8日(土)には福島市の穴原温泉吉川屋で忘年会を開き、にぎやかに語りました。



【お問い合わせ】 管野充史 ☎090-7233-1148

平成元年度大熊町立大熊中学校卒業生 (昭和49年度生まれ) 同級会を開きます

平成元年度大熊中学校卒業生として学び舎を築立ち、早くも25年が過ぎ、このたび以下のおり同級会を催すことになりました。恩師の先生方にもお声掛けをしたいと考えておりますので、ぜひご出席ください。

出席を希望される方は、連絡先へメールで申し込みください。その際、①氏名 ②旧姓 ③現住所 ④連絡先を所定のアドレスへ送信してください。メールでいただきました個人情報につきましては、幹事側の連絡資料とし、公表を考慮しておりませんのでご理解ください。

なお、今回同級会の案内をするにあたり、町の広報誌、ホームページを活用しております。ご家族や友人の方などで、ご覧になった方から周知いただけると幸いです。

◆日 時 平成27年5月2日(土) 午後5時～
◆会 場 会津若松ワシントンホテル
(会津若松市白虎町201)
☎0242-22-6111

◆会 費 8,000円(飲食、写真代を含む)
◆幹 事 廣嶋正人、舘内秀仁、武内一恵(旧氏・志賀)、住吉みどり(旧氏・金田)、佐藤千恵(旧氏・武内)

◆連絡先 E-mail: ootyuu49to50@yahoo.co.jp

◆申込締切 平成27年4月上旬

※交通費及び宿泊先の確保等については、各自での対応をお願いいたします。また、今回の同級会では男性の厄払い式等は特段実施する予定はありませんので、ご了承ください。

熊町中の還暦同級会を開きました

熊町中卒業生の還暦祝いを兼ねた同級会を10月11日、いわき市湯本温泉の「舌鼓の宿浜とく」で開きました。昭和46年3月の卒業以来の再会となった同級生も何人かおり、月日の流れを感じるひとときでした。懐かしい顔ぶれと夜遅くまで語り合い、旧交を温めました。

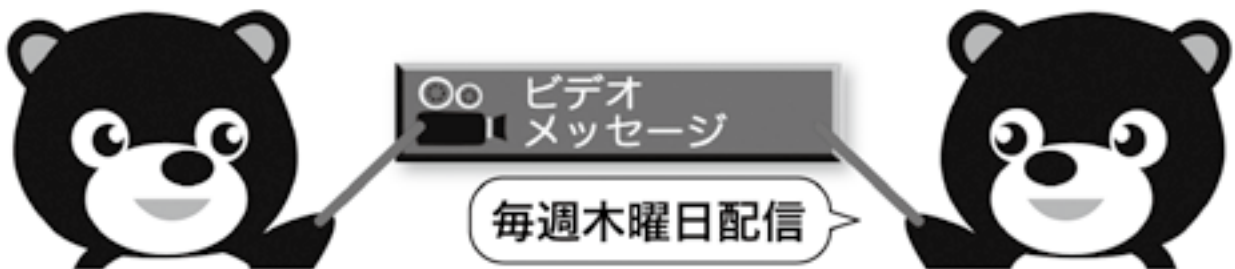
(幹事・奥山文男さん=いわき市)



タブレットの ビデオメッセージをみてみよう!!

離れて暮らすあの人の元気な姿や
もしかしたらあなたも映っているかも!?

- 大熊町の民話「羽黒の大蛇」「火のみ塚」
- ふるさとまつりinいわき ○縁joy東北 など盛りだくさん!



タブレット相談室：0800-800-0907
お気軽にお電話ください。通話無料(平日 9:00～17:00)

大熊町の避難状況

○人口及び世帯

	人口数	世帯数
平成23年 3月11日時点	11,505	4,235
平成26年12月30日現在	10,849	3,944
増 減	△ 656	△291

●避難先の状況 (平成27年1月1日現在)

福島県内の主な避難先地域

いわき地域	会津地域	県中地域
4,216人	2,052人	1,138人

福島県外の主な避難先都道府県

埼玉県	茨城県	東京都
415人	398人	306人

大熊町公式サイト、 ブログ大熊町

を、ご利用ください!

大熊町公式サイト、ブログ大熊町では新着情報や重要なお知らせなどを随時更新しています。ぜひご覧ください。

大熊町公式サイト

<http://www.town.okuma.fukushima.jp/>

ブログ大熊町

<http://blog-okuma.jugem.jp/>

おくやみ申し上げます

2014年(平成26年)12月

死亡者名	年齢	住所
吉田 道子	88歳	秋葉台
五十嵐 美恵子	85歳	大野
横川 公治	72歳	西平
平山 忠	79歳	旭台

死亡者名	年齢	住所
新長 ノブ子	89歳	久麻川
佐久間 オトモ	90歳	南台
村上 義明	80歳	長者原

●大熊町関連施設お問い合わせ先●

大熊町役場

●会津若松出張所

(総務課、企画調整課、税務課、住民課、福祉課、健康介護課、環境対策課、生活支援課、産業建設課、出納室、教育総務課、議会事務局)

〒965-0873 会津若松市追手町2-41

TEL : 0120-26-3844 (フリーダイヤル)

FAX : 0242-26-3794

●いわき出張所

(生活支援係、健康介護係、復興事業課)

〒970-1144 いわき市好間工業団地1-43

TEL : 0120-26-5671 (フリーダイヤル)

FAX : 0246-36-5672

●中通り連絡事務所

〒964-0915 二本松市金色421-10

オフィス・ウインドストリーム1F

TEL : 0120-24-1013 (フリーダイヤル)

FAX : 0243-24-1259

●現地連絡事務所

〒979-1306 大熊町大字大川原字手の倉125

坂下ダム施設管理事務所内

TEL : 0240-32-2318 FAX : 0240-32-5460

※現地連絡事務所では大熊町内の防火・防犯、一時立入者の補助業務を行っています。それ以外の業務につきましては、会津若松出張所またはいわき出張所、中通り連絡事務所へお問い合わせくださいますようお願いいたします。

大熊町コミュニティ支援事務所

●関東事務所 (梨の実スペース)

〒330-0062 さいたま市浦和区仲町2-15-4

アイリーセブンコート1F

TEL : 048-711-7135

●いわき事務所

〒970-1144 いわき市好間工業団地1-43

大熊町役場いわき出張所内

TEL : 0246-88-9318

大熊中学校

〒965-0003 会津若松市一箕町八幡字門田9-2

TEL : 0242-23-7214 FAX : 0242-37-7157

大野小学校

〒969-3411 会津若松市河東町大田原字村中186

TEL : 0242-75-2350 FAX : 0242-75-2352

熊町小学校

〒969-3411 会津若松市河東町大田原字村中186

TEL : 0242-76-1821 FAX : 0242-76-1822

大熊幼稚園

〒969-3471 会津若松市河東町広田字塩新182

TEL : 0242-75-3150 FAX : 0242-76-1718

大熊町社会福祉協議会

●会津若松出張所

〒965-0873 会津若松市追手町2-41

(大熊町役場会津若松出張所内)

TEL : 0242-29-5760 FAX : 0242-29-5761



町長室から 渡辺 利綱



成人式は、新しい年を迎えて最初に訪れる大きな行事です。今年初めて、いわき市で行いました。雪の中で行われる会津での式も趣がありましたが、抜けるような晴天の中で、式も晴れやかさに輪をかけ、素晴らしいものでした。ベビーブーム世代の私たちのころ、同級生は300人以上いたと思います。今年は124人。時の流れを感じますが、着飾った若者たちが節目の日に立てる誓いの尊さは、今も昔も変わりありません。

新成人のまつすぐな眼差しに接すると、いつもこちらが活力をもらいます。現状を克服しようとする努力を自分たちが引き継ぐと誓った小田諒太さんのあいさつには感動しました。

誓いの日

た。全員で歌った校歌の響きも胸にしみました。毎年、式辞の中で偉人の言葉を引用しています。今年「希望を失わなければ、自然と知恵が出てくる」という言葉を新成人に贈りました。強い熱意と高い希望は、難題の解決に不可欠なことです。晴れの日は同時に、社会の荒波に漕ぎ出す日でもあり、幾度も訪れるだろう困難を乗り越えてほしいとの願いを込めました。

避難生活は間もなく4年を迎えます。帰還への道はまだ長く、険しいものです。それでも希望を捨ててはいけません。新成人への言葉は自分に言い聞かせたものであったと後で気付きました。若者に負けない強い意志で今年も職務に当たる。秘かに誓いを立てました。

●いわき連絡所

〒970-1144 いわき市好間工業団地1-43

(大熊町役場いわき出張所内)

TEL : 0246-38-8920 FAX : 0246-38-8921

●中通り連絡所

〒964-0915 二本松市金色421-10

(大熊町役場中通り連絡事務所2階)

TEL : 0243-24-1338 FAX : 0243-24-1339

大熊町商工会

〒965-0873 会津若松市追手町2-41

(大熊町役場会津若松出張所内)

TEL : 0242-29-5770 FAX : 0242-29-5771

